

# 多くの皆様から「孔子像修復事業」へのご寄附を賜り、誠にありがとうございます

多久聖廟創建300年の記念事業として財団法人孔子の里と多久市が取り組んでまいりました孔子像修復に対するご寄附につきましては、皆様のご厚意により目標に達することができました。

なかむらてきさい

「孔子像」は、元禄14年（1701年）に京都の儒学者・中村惕斎の監修により鑄造されたものですが、昭和26年3月、四配の像と共に装飾品等の一部が盗難に遭い、以来修復されることなく今日に至っていました。また、三世紀にわたる歳月を経て、一部に緑錆が点在しはじめ腐食が進行しつつあり、今回初めて修復されます。

今回行います修復作業は、



修復予想図

- ① 冠の玉簾飾りの復元
- ② 圭（1個）の復元
- ③ 紐飾り（本体頭部4本）の復元
- ④ 装飾品（本体頭部2本）の復元
- ⑤ 装飾品（椅子部分2本）の復元
- ⑥ 像全体の錆落としと保護



修復前

このうち①、③、④は冠の飾り部分で、③の紐飾り4本は、冠を止める紐の装飾と思われます。⑤は、椅子の飾りです。②は笏（しゃく）のようなもので、郷土資料館に所蔵している孔子像の絵図をもとに復元します。また、今回の修復は、多久の孔子像と兄弟とも言える岡山県備前市の閑谷（しずたに）学校に安置されている孔子像も参考にしています。

このたび、予想を上回るご寄附をいただきましたことから、四配の像（顔子、曾子、子思子、孟子）の復元にも、皆様からの寄附金を活用させていただきます。四配の像は、昭和26年の盗難後、唐津焼にて復元したものが現在安置されています。聖廟創建300年を記念し、創建当時の青銅製の像復元に着手する予定です。

引き続き復元のため皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願いします。

## ■問い合わせ

多久市 総務部 経営統括室

☎75-2116

多久聖廟創建300年祭実行委員会事務局

☎75-2350

## ■ご寄附のお申し出は

多久市ふるさと応援ダイヤル

☎0120-777-681